

「茶室談義 伝統と現代」

磯崎新×藤森照信

日本の伝統的な極小空間である茶室をテーマに、日本を代表する世界的な建築家である磯崎新氏と、建築史家であり近年国内外で茶室をつくっている建築家藤森照信氏が、現代における諸々の空間様相について語る「全方位的談義」



磯崎新

建築家

1960年代に大分市を中心とした建築群を設計。90年代には、パロセロナ、オークランド、クラコフ、京都、今世紀に入り中東、中国、中央アジアといった国内外での設計活動を行う。建築評論をはじめ様々な領域に対して執筆、発言をしている。カリフォルニア大学、ハーバード大学などの客員教授を歴任、多くの国際コンペでの審査員も務める。



藤森照信

工学院大学教授・建築家・建築史家

専門の建築史学にとどまらず広範な内容の著作も多数発表。日本建築学会論文賞ならびに作品賞を受賞。多くの建築作品も手がける一方、国内外での展覧会を開催するなど幅広い活動を行う。

ナビゲーター

富永祥子

工学院大学建築デザイン学科准教授



日時 2012年11月10日(土) 18:00~20:00
会場 工学院大学3階アーバンテックホール(新宿西口)
定員 先着250名(事前申し込みによる先着順) 入場無料

懇親会に参加される方は、お申し込みの際にお知らせください。

会費3,500円 / 参加者全員に藤森照信著「茶室学」定価3,150円(税込)贈呈
20:00~21:30 / 工学院大学7階生協食堂(会費は会場にて徴収させていただきます)

申し込み問い合わせは空間デザイン機構(<http://www.jcd.or.jp/> から検索して下さい)まで。
締め切り11月2日

主催 学校法人工学院大学建築学部

共催 空間デザイン機構 一般社団法人日本空間デザイン協会
社団法人日本商環境設計家協会
公益社団法人日本サインデザイン協会
一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

後援 一般社団法人日本インテリアプランナー協会

協力 株式会社六耀社